

た。これから、連携協定に基づき、地方創生を担う人材の招致及び慶應義塾大学大学院への職員派遣研修による人材育成を図り、「持続可能なまちづくり」を進めてまいります。

### 【社会保障関連】

少子高齢化により平成の30年間で、日本の出生率は1・57から1・26まで落ち込み、逆に高齢化率は10%から30%へと上昇しました。これまでも定住化施策をはじめとした人口減少対策分野での支援を含め、若者や子育て世代に対する包括的な支援策を行ってまいりましたが、さらなる定住化を促すために、住宅整備の検討を行います。一方で、住民生活の安全・安心と良好な生活環境の確保のために、危険家屋除去に対する補助事業もを行い、切れ目のない施策を展開してまいります。また、消費税率引き上げの影響を平準化するために、「プレミアム付商品券」の発行を通じ、住民の皆様の負担を軽減します。

### 【教育関連】

次に、教育関連でございます。今さら申すまでもなく、この大崎町の未来を担うのは子どもたちです。リサイクル未来創生奨学金制度に留まらず、子ども・子育て支援事業計画を策定し、子どもより良い育ち環境の実現を目指します。学びの環境の改善のために行っている学校の大規模改造についても、引き続き取り組みとともに小学校の遊具の設置も行ってまいります。

### 【農業関連】

農こそ国の基(もと)です。引き続き、本町の基幹産業である農林水産業について、産地パワーアップ事業への取り組み、ほ場整備や畑かん営農の推進、農道のメンテナンスフリー工事等、生産基盤の整備に努め、強い農業づくりに取り組んでまいります。さらに、2022年の第12回全国和牛能力共進会が本県で開催されることから、畜産振興にこれまで以上に努力してまいります。

### 【防災関連】

5月に完成予定の菱田消防分団詰所をはじめとして、災害における人命と財産、そして地域の安心・安全を守るため、さらなる防災、減災に向けた施策にも取り組んでまいります。また本庁舎の耐震工事、地方改善施設整備事業による三文字地区の排水対策事業や、防犯灯や防火水槽の設置、消防車両の整備だけでなく、今後の防災行政を中長期的な観点から考えた場合、庁舎のあり方を検討する段階にきたと感じており、今年度は職員による検討をはじめてまいります。

### 【スポーツ関連】

4月1日に「ジャパン・アスリート・トレーニングセンター・大隅」がオープンいたしました。既に多くの実業団等の合宿が町内で始まっており、全国高等学校総合体育大会が開催される今年、そして国民体育大会・全国障害者スポーツ大会が開催される来年へと、東京オリンピックの開催に関するホストタウンの

取り組み等によるスポーツ振興の勢いを加速させてまいります。特に、「熱い鼓動風は南から」をスローガンとする第75回国民体育大会「燃ゆる感動かごしま国体」と第20回全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動鹿児島大会」の開催まで、約1年5か月余りとなりました。本町でも国体のリハーサル大会を開催することとしており、両大会の開催の気運の醸成を図るとともに、多くの町民の方々や子どもたちの思い出となり、心に残るよう、競技団体等と連携した取り組みを積極的に推進してまいります。また、ふれあいの里ランニングコース整備工事を行い、「陸上競技の聖地」実現プロジェクトに引き続き取り組んでまいります。

大きく6点ほど申し上げましたが、「持続可能なまちづくり」と「未来への投資」に対する政策を重点的に行い、素晴らしい田园風景、緑あふれる山並、伝統あふるさとを次の世代に引き渡していくため、各般の施策に全力で取り組んでまいります。